

2024年2月期 第3四半期決算

(2023年3月1日～2023年11月30日)

2023.12.22



目次

- ソリューション提供モデルと経営環境
- 2024年2月期 第3四半期 決算概要
- 2024年2月期 通期 業績見通し
- トピックス

ソリューション提供モデルと 経営環境



YE 45th **YE DIGITAL**

ソリューション提供モデルと経営環境

ソリューション提供モデル

経営環境

顧客・ユーザー

① ビジネスソリューション

ビジネスDX
(ERPソリューションなど)

顧客向けシステム開発

⋮

② IoTソリューション

物流DX

畜産DX

スマートシティ

⋮

③ サービスビジネス

SmartService AQUA

- サステナビリティ経営の重要性
- 人的資本経営の重視(人材育成、多様な人材の活用、インゲージメント等)
- 社内DX、業務改革の推進・強化 など

① ビジネスソリューション

- 「2025年の崖」の直面と克服、ITシステムの老朽化/IT人材不足
- 国内のDXの取り組みの遅れ、未着手企業が多数

② IoTソリューション

- 人手不足/従事者の高齢化(畜産業界、物流業界など)
- 環境問題や食品ロス問題等の対応(地球温暖化、畜産環境問題、食品ロス・廃棄ロスなど)

③ サービスビジネス

- クラウド需要の拡大と成長
- 消費行動の変化と多様性の進化
- ビジネスモデルの創出と進化
サブスク、シェアリングエコノミーなど

2024年2月期
第3四半期 決算概要



 45th YE DIGITAL

2024年2月期第3四半期（累計）業績サマリー

売上高

過去
最高

14,851百万円 (+35.6%)



ERPソリューション、物流DX分野が引き続き好調

営業利益

過去
最高

1,205百万円 (+171.2%)



間接費増や原価率上昇も売上増により増益

営業利益率

8.1% (+4.0pt)



営業利益率も改善

※()内の数値は対前年同四半期比

2024年2月期第3四半期（累計）業績

- DX化需要の増加に伴い、ビジネスDXや物流DXが引き続き好調に推移し、**増収増益**
- 要員・賞与増による間接費増や外注委託費増による原価率上昇が発生するも、売上増により**利益大幅増**
- 売上高、利益面のいずれも**過去最高**を更新

単位：百万円
(百万円未満切捨て)

	2022年度 第3四半期実績	2023年度 第3四半期実績	増減率	2023年度 通期 業績予想	進捗率
売上高	10,953	★ 14,851	+ 35.6%	19,000	78.2%
うち ビジネスソリューション	8,203	11,538	+ 40.6%	14,340	80.5%
うち IoTソリューション	2,750	3,313	+ 20.5%	4,660	71.1%
営業利益	444	★ 1,205	+ 171.2%	1,350	89.3%
経常利益	384	★ 1,275	+ 231.5%	1,400	91.1%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	487	★ 789	+ 61.9%	900	87.7%
1株当たり 四半期・当期純利益金額：円	26.90	43.55	+ 16.65	49.63	—

※サービスビジネスの売上は、ビジネスソリューションとIoTソリューションに含まれています。
 ※通期業績予想は、第3四半期決算発表時(2023年12月22日)に上方修正いたしました。
 ※★は過去最高

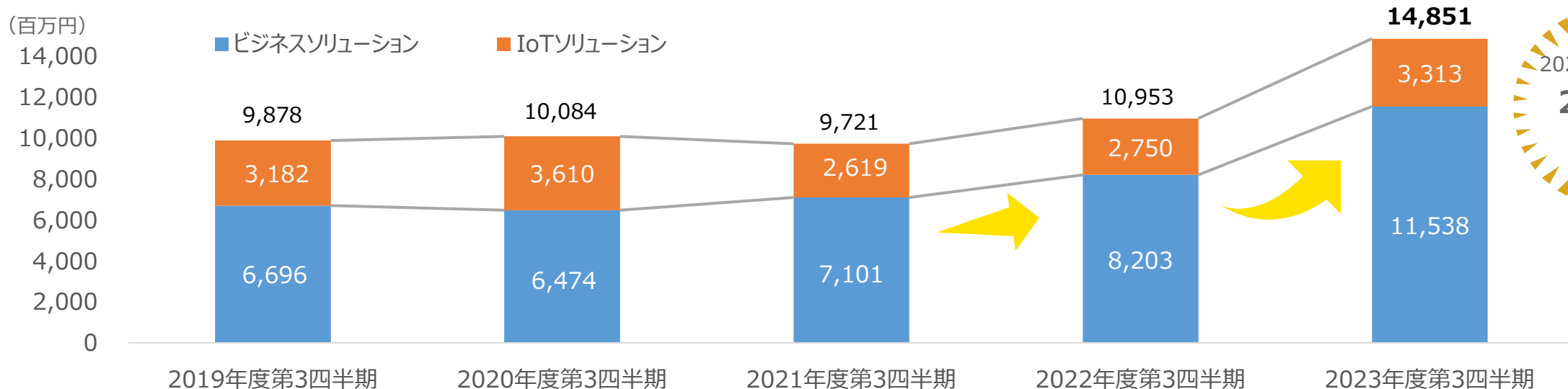
2024年2月期第3四半期（累計） 事業別の概要

ビジネスソリューション

- **売上高は115億38百万円（対前年同四半期比40.6%増）**
- ERPソリューションは当社プライムでのビジネスDX推進・構築の継続的な取り組みで引き続き好調に推移し、前年同四半期に比べ増加
- 健康保険者向けシステム構築は、増加
- 移動体通信事業者向け開発は、減少

IoTソリューション

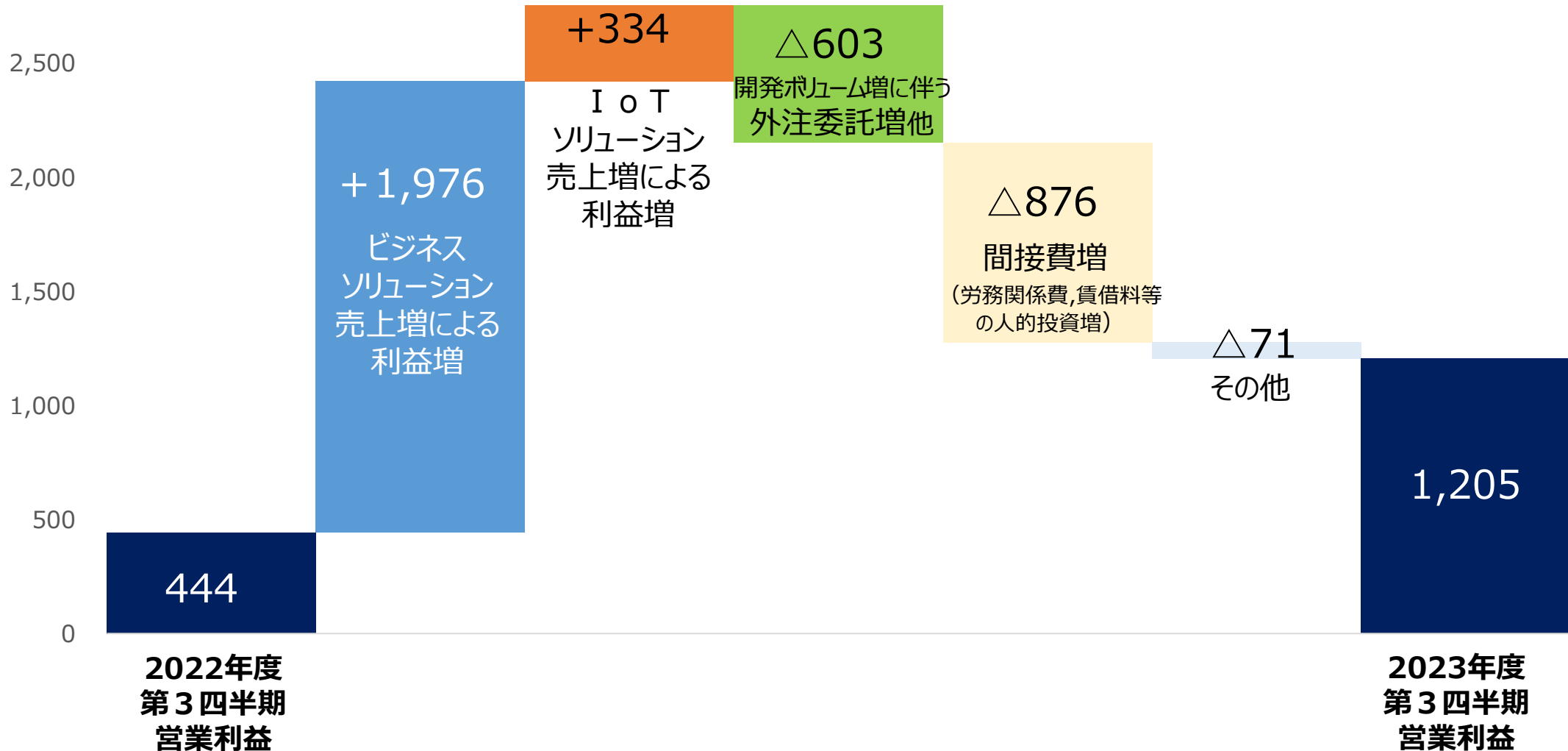
- **売上高は33億13百万円（同20.5%増）**
- 物流DX事業は、旺盛な需要に対するソリューション拡販により好調に推移し、前年同四半期に比べ増加
- スマートシティ向けソリューション、インターネット・セキュリティ関連製品は、増加
- 生産ライン等のFAシステム構築、食品加工向けなどのAI・IoT製品、畜産DXは、減少



2021年度3Qから
**2期連続
増収!**

営業利益増減要因分析（前年同四半期比）

(百万円)
3,000



2024年2月期第3四半期 貸借対照表 (対前連結会計年度末比)

単位：百万円
(百万円未満切捨て)

	2022年度 期末残高	2023年度 第3四半期末残高	増減額	主な内訳
流動資産	8,367	9,301	+ 933	現金及び預金 9 億66百万円増、商品及び製品 1 億14百万円増、 その他 2 億23百万円増、 受取手形、売掛金及び契約資産 3 億92百万円減
固定資産	3,278	3,171	△ 106	繰延税金資産 1 億45百万円減、有形固定資産 1 億9 百万円減、 その他 1 億61百万円増
資産合計	11,645	12,472	+ 827	
流動負債	4,480	4,514	+ 33	未払費用 4 億82百万円増、未払法人税等 2 億40百万円減、 支払手形及び買掛金 1 億97百万円減
固定負債	2,119	2,152	+ 32	資産除去債務63百万円増、退職給付に係る負債30百万円減
株主資本	5,150	5,758	+ 608	
純資産	5,044	5,805	+ 760	利益剰余金 6 億 8 百万円増、新株予約権 1 億13百万円増、 退職給付に係る調整累計額37百万円増
負債純資産合計	11,645	12,472	+ 827	
自己資本比率	40.8%	43.3%	+ 2.5%	
ROE	17.2%	-	-	

2024年2月期
通期 業績見通し



 45th YE DIGITAL

2024年2月期 通期 業績見通し

- DX推進を背景とした需要は継続
- ビジネスDXでの好調継続、物流DXの伸長など順調な進捗により、通期業績見通しを**上方修正**
- 今後の事業拡大・発展のための投資などを勘案し、年間配当は12円（前年度比+2円）

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	2023年度 前回予想	2023年度 今回予想	前回予想比		2022年度 実績	前年度実績比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	18,300	19,000	+700	+3.8%	16,151	+2,849	+17.6%
営業利益	1,200	1,350	+150	+12.5%	909	+441	+48.4%
経常利益	1,250	1,400	+150	+12.0%	836	+564	+67.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	770	900	+130	+16.9%	783	+117	+14.9%
1株当たり当期純利益金額：円	42.46	49.63	+7.17	—	43.19	+6.44	—
年間配当金（うち中間配当金）	12円(5円)	12円(5円)	0円(—)	0%(—)	10円(5円)	2円(—)	+20.0%(—)

※前回予想：2023年9月29日発表の修正予想値

トピックス



 45th YE DIGITAL

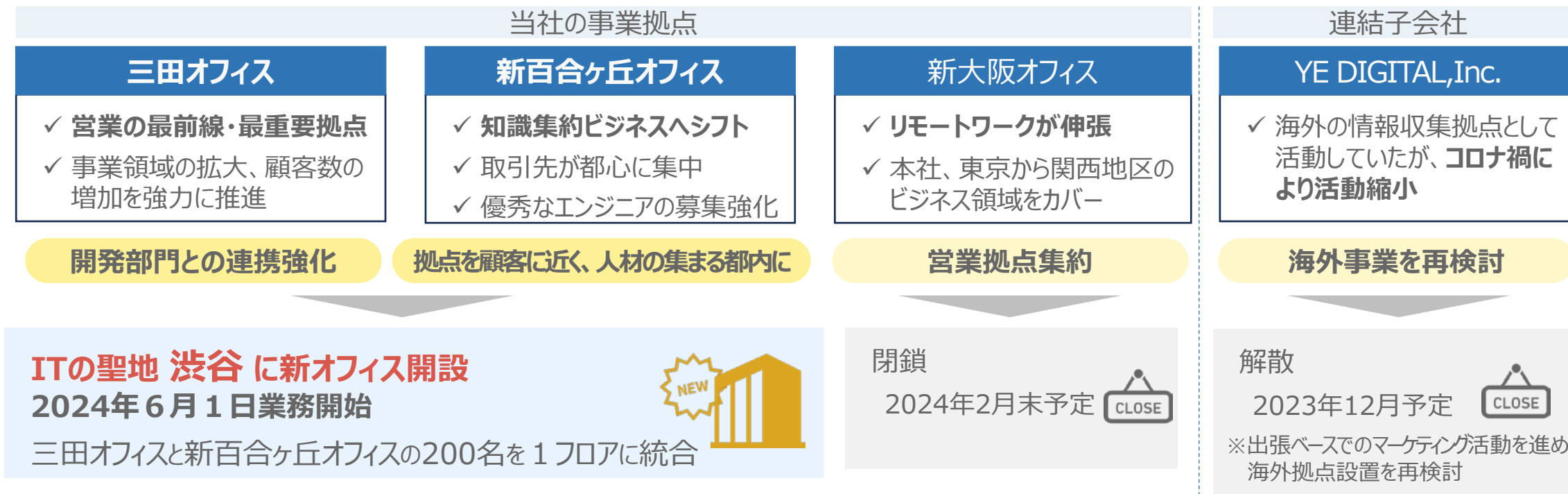
Topics

渋谷オフィスを開設！

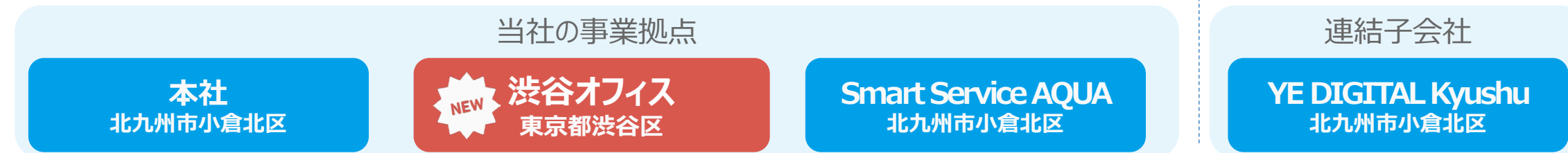
営業・開発・マーケティングが一体となって事業を拡大！

中期経営計画最終年度(2024年度)での最高益更新に向けて、営業・開発・マーケティングの連携強化による戦略的な事業展開を目的として、東京地区オフィスを統合し、渋谷に新たな拠点を開設します。

■ 事業拠点と連結子会社の見直し



■ 見直し後の事業拠点と連結子会社



物流DX：当社主催ウェビナー「物流の未来予想図」を開催

国土交通省や物流業界のリーダーを登壇者として招き、最新の物流政策や先進的な物流自動化技術を紹介するウェビナーを2023年11月22日(水)に開催しました。

テーマ：

流通・物流業界における

「2024年問題を乗り越えた先の倉庫自動化の推進とサステナブルなサプライチェーンの変革」

- 当社セクションでは、物流倉庫の自動化進展によってもたらされる課題を倉庫自動化システム「MMLogiStation」で解決する方策をご紹介
- 500名を超える方がご参加、今後の倉庫自動化を検討されている顧客を獲得
- メディア掲載（LOGISTICS TODAY、LNEWS）



- ✓ 「物流DX、倉庫自動化＝YE DIGITAL」のブランド浸透へ
- ✓ 需要を確実に捉えて、顧客獲得・物流DX事業の拡大へ

MMLogiStation

【ウェビナープログラム】

講演内容	登壇者
【基調講演】 「物流2024年問題を乗り切る3つの戦略的打ち手～間違いだらけのDX、あるべき物流へのEX/GX～」	エルテックラボ代表 物流ジャーナリスト 菊田一郎氏
【特別講演1】 「物流業界未来図：『物流革新に向けた政策パッケージ』を探る	国土交通省 物流・自動車局 物流政策課 物流効率化調査官 笹口朋亮氏
【特別講演2】 「持続可能なサプライチェーンを構築するための物流戦略」	アビームコンサルティング株式会社 エンタープライズトランスフォーメーションビジネスユニット デジタルプロセス&イノベーショングループ SCMセクター シニアコンサルタント 柴迫勇次氏
【事例紹介】 「次世代物流センター事例の紹介」	株式会社カインズ ロジスティクス事業部 物流インフラ開発部部長 石那田篤氏
「倉庫自動化の未来」	YE DIGITAL 組込・制御システム本部 物流DX事業推進部部長 浅成直也

畜産DX：「飼料残量の見える化」で、1カ月の残量確認を『42時間削減』

大規模黒豚農場キリシマドリームファーム株式会社（宮崎県都城市）は、飼料タンク残量管理ソリューション「Milfee」を2農場57タンクに本格導入し、**月12回行っていた飼料残量確認が月1回に減り、「42時間/月」の作業時間削減を実現!!**

導入の背景

ベテラン従業員の負担大

- 2農場 約200タンクの飼料残量把握にベテラン従業員が
- ・ 週3回(月12回) 巡回、タンクに上って目測で残量確認
 - ・ 飼料発注計画書の作成 などを実施

2023年6月まで2農場の57タンクに「Milfee」設置

結果

- ① 1ヵ月にかかる飼料残量確認を「42時間削減」
- ② ベテラン従業員しかできない作業負担を、ベテランに代わり「Milfee」がカバー

Milfee 導入の 効果

- ✓ 飼料タンクの確認回数減で、大幅な作業時間削減だけでなく、タンク上の高所作業の負担も軽減
(「Milfee」導入で作業の効率化だけでなく、安全面からもプラス効果)
- ✓ 自社で「Milfee」設置でき、スピーディーに飼料タンクの残量確認開始。DX化が加速

Milfeeで 実現した 畜産DX

- ✓ ベテラン従業員の削減できた時間は、黒豚を大切に育てるために費やすことが可能に
- ✓ 経験が浅くても端末画面で飼料残量の確認ができるため、ベテランに代わって飼料の発注計画書の作成が可能に





デジタルで、
暮らしに明るい変革を。

